

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	地方における交流・定住の促進に要する経費		担当部局	国土政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度・平成22年度		担当課室	地方振興課		課長 山本 克也		
会計区分	一般会計		施策名	7 都市再生・地域再生等の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国土形成計画(H20.7.4閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	都市と農山漁村の連携交流を形成・確立するにあたり、都市と農山漁村、双方のニーズにマッチングした交流事業の取り組み方、事業運営を継続・発展させるための仕組み、情報発信のあり方、並びにこれらの交流事業をきっかけとした地域づくりへのつなげ方のポイントと等を明らかにし、それらを活かした地域振興を図ろうとするもの。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	H22年度は、都市と農山漁村の交流における発展要因などの事業成功のポイント等といったこれまでの調査結果について、フォローアップ等を行い、再整理することにより、今後の交流の促進へとつなげていく具体的な方策を国や市町村等において検討できるよう、これまでの調査の総括的な取りまとめを行った。 (参考) H19: 体験型交流事業に対するニーズに関する調査検討について取りまとめ H20: 体験型交流事業におけるニーズのマッチングと交流事業の発展・継続等に関する調査検討について取りまとめ H21: 連携支援型交流等に関する調査検討及び発信すべき情報、その発信手法のあり方等に関する調査検討について取りまとめ							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	43	21	19	-	-	
		補正予算	0	0	0	-	-	
		繰越し等	0	0	0	-	-	
	計	43	21	19	-	-		
	執行額	35	20	19	-	-		
執行率(%)	81.4%	95.2%	97.7%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)	
	全国の地方圏から大都市圏への転出者数に対する大都市圏から地方圏への転入者数の比率		成果実績	%	74.7	81.9	85.5	78
			達成度	%	95.8	105	109.6	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
			活動実績(当初見込み)				() ()	
単位当たりコスト			算出根拠	施策の企画立案等に係る調査検討を行っているものであり、定量的な指標を示すことができないため。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	なし							
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・発注先の選定にあたっては、透明性及び公平性の確保を図る観点から、企画競争による手続きを経た上で、発注先を特定し、請負契約を締結している。</p> <p>・業務の実施にあたっては、適切な指示を行うなど、国が求める調査内容となっているか、調査内容のとりまとめに向けて調査内容に過不足はないかなどを確認している。</p> <p>・調査終了後、完了時の検査を通じて、発注先より提出のある成果物(報告書)の内容が、国の求める調査事項を網羅しているか、国が指示した報告書の整理方法となっているかなど確認を行っている。</p> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>・平成22年度にはこれまでの調査結果についてフォローアップ等を行い、これまでの総括的取りまとめを行ったところであり、それをもって当事業を廃止した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>昨年度の行政事業レビューで廃止。事業は廃止するが、成果の有効活用を図る。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省
20百万円

都市農山漁村連携交流推進調査
業務に係る企画・立案



A.都市・地域整備局
20百万円

都市農山漁村連携交流推進調査
業務に係る企画・立案



【企画競争】

B.株式会社価値総合研究所
20百万円

- ・NPOや企業等が参加する都市と農山漁村の交流事業に係る事例収集及び実態把握
- ・情報発信のあり方等の検討に必要なデータの収集
- ・これまでの調査結果について、フォローアップ等を行い、再整理
- ・これまでの調査の総括的取りまとめ

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.都市・地域整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	都市農山漁村連携交流推進調査業務に係る企画・立案	20			
その他	職員旅費	0.4			
計		20	計		0
B.株式会社価値総合研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負	都市農山漁村連携交流推進調査(都市と農山漁村の交流事業についての事例収集及び実態把握、情報発信のあり方等の検討のために必要なデータの収集、これまでの調査結果のフォローアップ、再整理及びこれまでの調査の総括的取りまとめ)	20			
計		20	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社価値総合研究所	都市農山漁村連携交流推進調査	20	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					